

ベジタリア「スマートファームウォッチ」の総合防除における活用方法

 Who	 How	 What (提供価値)	
対象	提供方法	短期のPDCA	長期のPDCA
農家	IoTセンサによる作物の生体情報やメッシュ気象データ、簡易な作業情報の入力から、生育や環境を直感的に理解できる「スマート栽培暦」として反映する (④)	—	病害虫が発生した時期の作物の状態、環境情報を簡易に振り返ることができ、発生 of 要因解析に活用でき、次作の対策に活かせる
	病害虫発生状況を、特定範囲 (地図/リスト) 及び広域 (地図) の2つの範囲表示できる (③)	病害虫が発生している箇所を直感的に把握でき、早期防除に活用できる	年次単位でも、病害虫の発生を示すことができ、次作の営農計画に活用することができる
農家・普及機関	普及機関から防除・注意情報を周知する (⑥)	農家 (管理者) による防除要否の判断を支援	産地全体で、データに基づいた総合防除の改善サイクル (OODAループ) を回すことができる
普及機関	農家アカウントのユーザーインターフェースに、防除注意法・警報を周知できる (品種や地域指定することも可能) (⑥)	管内の農家に、リスクを早期に周知、認知させ、産地の病害虫リスクを低減できる	—

※番号毎の機能の詳細は、別途作成した「モデル事例 (プロセス別の特徴とメリット)」を参照のこと